

令和元年度 江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業(地方創生推進交付金)実績

観光振興計画推進事業 【継続事業:1年目】	交付決定額(円)	実績額(円)	事業KPI	事業開始前 (申請時)	重要業績評価指標 (KPI) 令和元年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和2年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和3年度実績値	令和3年度 目標値	実績値を踏まえた事業の今後について		令和2年度事業内容等(2年目)
									今後の方針	今後の方針の理由	
令和元年度事業内容等(1年目)											
1年目は前身事業で構築することを決定した観光推進体制について、有識者等による検討会議を設置し具体的な検討を行う。本事業2年目での観光推進体制の組織化に向けて、組織の構成や活動の詳細について協議を行うほか、観光振興のための取組や既存資源のマッチング等についても検討する。さらに、「江別市観光振興計画」を推進するため、計画で定めたサイクルツーリズム、日帰り周遊観光の推進、市内イベントの充実、市外プロモーションの推進やSNS等を活用した江別市の魅力等の情報発信の強化を図る。また、江別の魅力を凝縮した新たな特産品の開発を財政面から支援するため、産業連携新商品開発支援補助金を創設する。	6,010,000	5,174,165	観光入込客数	915,337人	1,190,090人	-	-	996,337人	事業の継続	継続して地域資源の活用や情報発信を実施し、道央圏からの誘客による交流人口の増加を図る。	1年目に関係団体等と検討を行った観光推進体制について、2年目は有識者会議を行い、組織の立ち上げ、具体的な取組について検討する。 具体的には、観光推進体制の中心的団体となる観光協会の強化を図り、江別の魅力を詰め込んだ特産品開発に向けた検討や市内イベントの検証、磨き上げなどに取り組む。また、継続して日帰り周遊観光の推進やSNS等を活用した情報発信の強化、ロケ誘致を進めるほか、観光セミナーの開催による観光人材の育成を行う。
			グリーンツーリズム関連施設の利用者数	580,762人	596,862人	-	-	691,762人	事業の継続	農業体験やその地域の自然、文化に触れることが出来るモニターツアー等の開催やサイクルツーリズムの推進について検討を行い、グリーンツーリズムによる誘客の検討・協議を行う。	
			産業連携新商品開発支援数	0件	2件	-	-	3件	事業の継続	産業連携の促進、地域経済の振興及び江別産農畜産物の付加価値向上を図る。	

江別版生涯活躍のまち推進事業 【継続事業:1年目】	交付決定額(円)	実績額(円)	事業KPI	事業開始前 (申請時)	重要業績評価指標 (KPI) 令和元年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和2年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和3年度実績値	令和3年度 目標値	実績値を踏まえた事業の今後について		令和2年度事業内容等(2年目)
									今後の方針	今後の方針の理由	
令和元年度事業内容等(1年目)											
市民が市外に転出することなく生涯にわたって暮らし続けられるまちづくりの実現を目指し、アクティブシニアや障がい者が就業、ボランティア等に携わり市内で活躍することを通じて、様々な地域課題の解決に寄与するような仕組みを構築する。1年目は前身事業で策定した江別版「生涯活躍のまち」構想を土台として、地域再生協議会を立ち上げ、構想の実現に向けた生涯活躍のまち形成事業計画の策定及び下地づくりを実施する。	1,988,000	1,588,716	拠点エリアにおける居住者・入所者数 (サービス付き高齢者向け住宅、介護保険施設、障がい者グループホーム)	0人	0人	-	-	243人	事業の継続	令和3年春の本格始動に向けて、開設準備室の設置やコーディネーターの活動を進めるとともに、市内4大学、地元商店街、自治会などの地域資源と拠点地域との関わりを広げていく取組を継続する。	1年目で策定した生涯活躍のまち形成事業計画を踏まえ、令和2年度の施設等入所に備えた展開を図っていく。 具体的にはコーディネーターを配置し「生涯活躍のまち」のサービス全般の管理、調整、入居希望者の相談等や住み替え支援を実施するとともに、地域住民及び若年層や障がい者など多様な主体との交流による「共生のまち」を実現するための、市民説明会等を実施する。また、市民や市外の方にPR(パンフレット・ポスター等を作成)し、江別版生涯活躍のまちを知ってもらえる取組みも併せて展開していく。
			拠点エリアにおける雇用人数	0人	0人	-	-	165人	事業の継続		
			拠点エリアで受け入れたボランティア人数(延べ)	0人	0人	-	-	50人	事業の継続		
			健康増進プログラムに参加した人数	0人	0人	-	-	50人	事業の継続		

有給インターンシップ等地域就職支援事業 【継続事業:3年目】	交付決定額(円)	実績額(円)	事業KPI	事業開始前 (申請時)	重要業績評価指標 (KPI) 平成29年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 平成30年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和元年度実績値	令和元年度 目標値	実績値を踏まえた事業の今後について		令和2年度事業内容等
									今後の方針	今後の方針の理由	
令和元年度事業内容等(3年目)											
3年目は、2年目までに確立した、市内大学生の有給インターンシップ登録、市内企業のインターンシップ受入れ、市内大学生のインターンシップ参加のモデルを基に事業を拡大し、学生地域定着事業と連携し、インターンシップ参加の対象を市内在住の市外大学へ通学する大学生も含めることとし、併せて市外企業も参加できる仕組みに拡大することにより有給インターンシップ参加者65名を確保する。	6,037,000	6,030,062	インターンシップ登録学生数	50人	55人	【平成30年度】 70人 【累計】 125人	【令和元年度】 85人 【累計】 210人	180人 【累計】	予定通り事業終了	-	-
			有給インターンシップ参加学生数	40人	46人	66人	57人	65人	予定通り事業終了	-	

【ジモ×ガク(地元×学生)】～学生地域定着自治体連携プロジェクト 【継続事業:3年目】	交付決定額(円)	実績額(円)	事業KPI	事業開始前 (申請時)	重要業績評価指標 (KPI) 平成29年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 平成30年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和元年度実績値	令和元年度 目標値	実績値を踏まえた事業の今後について		令和2年度事業内容等
									今後の方針	今後の方針の理由	
令和元年度事業内容等(3年目)											
連携自治体や連携企業・団体、大学などと共に、負担金収入による事業自立化の道を検討する。 地域活動プログラムのPDCAサイクルにより毎年度見直しを行っていく。 また、連携自治体内の高校生をターゲットとした本事業の魅力PR活動を更に拡大し、2年目に作成したPR媒体を活用して札幌圏や首都圏の高校にも対象を広げ、江別市内の4大学に入学して地域活動プログラムに参加する大学生を増やす取組を行う。	1,555,000	1,454,400	地域活動プログラムに参加した学生で連携自治体に、就職や定住した人数	0人	5人	【平成30年度】 3人 【累計】 8人	【令和元年度】 5人 【累計】 13人	15人 【累計】	事業内容の見直し(改善)	-	-
			地域プログラムに参加した延学生数	825人	778人	732人	726人	870人	予定通り事業終了	-	

令和元年度 江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業(地方創生拠点整備交付金)実績一覧

everydayEBRI～物販等施設整備事業	交付決定額(円)	実績額(円)	事業KPI	事業開始前 (申請時)	重要業績評価指標 (KPI)	重要業績評価指標 (KPI)	重要業績評価指標 (KPI)	令和2年度 目標値	実績値を踏まえた事業の今後について
平成29年度事業内容及び整備内容					平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値		今後の方針
物販飲食施設兼備品収納庫の整備工事 物販飲食施設(電源設備整備含む)を整備し、また整備に伴う雨水処理対策工事等も併せて実施。また、備品収納庫を整備したほか、多くの利用者が安心してEBRIを楽しんでもらえるよう駐車場等(安全対策)の整備を行う。	39,125,000	34,261,250	EBRI観光消費額	430,217千円	524,966千円	395,696千円	494,869千円	657,389千円	予定通り事業終了
			EBRI入込客数	244,680人	315,607人	227,233人	246,077人	373,880人	予定通り事業終了
			主要観光入込客数(EBRI入込客数除く)	170,872人	174,498人	186,318人	194,451人	261,272人	予定通り事業終了

江別市都市と農村の交流センター多目的ホール整備事業	交付決定額(円)	実績額(円)	事業KPI	事業開始前 (申請時)	重要業績評価指標 (KPI)	重要業績評価指標 (KPI)	重要業績評価指標 (KPI)	令和2年度 目標値	実績値を踏まえた事業の今後について
平成29年度事業内容及び整備内容					平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値		今後の方針
多目的ホール等の整備工事 ・廃校体育館の外装・内装を整備し、利活用できるよう整備 ・農業者や企業等がテストキッチンを利用して開発した商品の試食会の実施や食育の場として利用するほか、交流の場として幅の広い活用をめざす。また、老朽化により使用できない照明・音響について整備し、天候等の影響を受けない事業の実施を可能とし、さらに食育の体験学習等を同時に行えるよう間仕切りのできる整備を実施。	24,811,000	21,918,400	6次産業化による新商品開発数	0件	【平成28年度】 3件 【平成29年度】 3件 【累計】 6件	【平成30年度】 2件 【累計】 8件	【令和元年度】 2件 【累計】 10件	12件 【累計】	予定通り事業終了
			都市と農村の交流センター利用者数	0人	31,840人	23,595人	26,718人	19,600人	予定通り事業終了